

こんしゅう　こうへい　わ　あ
今週のことは「公平な分かち合い」

せいしょ　ふくいんしょ
《聖書》マタイによる福音書 20:1-16

まず　げん　いん 貧しさの原因

きょう　なに　い
今日のたとえで、イエスは何を言いた
かったのでしょうか。ろうどうしゃ　はたら　ぶん
労働者が働いた分
ちんざん　とうぜん　けんり
の賃金をもらうのは、当然の権利です。
ですから、この権利をあきらめるように
イエスが言っているわけではありません。
イエスはこのたとえによって、もっと別
のことを言いたかったはずですよ。

げんざい　に　ほん　けいざいてき　ゆた
現在、日本は経済的に豊かになってい
ます。た　ほう　とうなん　くに　ひとびと
他方、東南アジアの国の人々は、
けいざいてき　ゆた　い
経済的には豊かだとは言えません。ある
ひと　ひとびと　まず
人たちは、人々が貧しいのはなまけてい
るからで、まじめに働けば豊かになるは
ずだと言います。果たして、そうなので
しょうか。

とうなん　くに　くに　し　ぜん
東南アジアの国々は、もともと自然に
めぐ　ゆた　くに　にとびと
恵まれて豊かな国でした。人々はあくせ
く働かなくても、自然にできるくだもの
うみ　と　さかな　じゅうぶんた
や、海から取れる魚で充分食べていくこ
とができたのです。ところが、よそから
はい　ひとびと　くに　と
入ってきた人々が、その国で取れるもの
じぶん　くに　も　かえ
を自分たちの国に持って帰ったり、よそ

くに　う　ひとびと
の国に売ってしまうために、人々のため
のこ　た
に残されたものはわずかとなり、食べる
のにも困るようになったのです。けいざいてき
経済的
まず　いま　れきし　かんけい
に貧しいのは、今までの歴史と関係があ
るのです。

こう　へい　わ　あ 公平な分かち合い、

に　ほん　けいざいてき　ゆた
日本の経済的な豊かさは、このような
くに　ひとびと
国の人々をふみつけることによってでき
たことなのです。ですから、ひとびと　と
人々から取
り上げたものは、かえ
返さなければいけない
のです。

このように見えますと、ぶどう園の
ろうどうしゃ　ふ　へい　い　ただ
労働者のように不平を言うことは、正し
こうどう　じ　ぶん　けん
い行動とはいえなくなります。自分の権
り　しゅちょう　ひと　けんり　むし
利だけ主張して、人の権利は無視してし
まうというのでは、よくないのです。

とみ　む　げん　かぎ
富が無限にあるわけではありません。限
とみ　こうへい　わ　あ　たいせつ
られた富を公平に分かち合うことが大切
なのです。すく　ひと　い
少なくとも、人が生きていく
うえで、どうしても必要なものはほしょうさ
保障さ
れなければなりません。じ　ぶん　はたら
自分の働きだけ
しゅちょう　ひと
を主張して、人のことをかえりみようと
ひと　ふくいん　せいしん　い
しない人は、福音の精神に生きていると
い
は言えません。

ねんかんだい　しゅじつ　ねん　たきのしょうざぶろう
年間第25主日A年（瀧野正三郎）